

25年度山口マイスター



モットーは「視野は広く」。
趣味は魚釣り。昭和52年11
月13日生まれ、宇部市在住

(有)栗栖工業
大野 学さん

鋼橋の橋梁架設、足場仮設などを手掛けてきた。今は、煙突や橋梁など補修・改修工事に使う足場仮設が多い。

「印象に残った現場は、興産大橋で塗装工事に使う足場を組んだことが印象に残っている。工期が短く足場自体も規模が大きかった。作業は、大勢の作業員で足場を組み、解体してまた組むの連続だった。稼働人員や忙しさは、これまで一番だった。また、きらら博の会場となつたきららドーム新築工事現場では、当時の社員総動員で作業に当たるなど印象深い。あとは、マンションの鉄骨建方を行っていた時、無理して作業を行っていたら風邪をこじらせて入院したこともあった。それ以後、体調管理

には万全を期している。一施工に関して工夫・苦勞している点は、常に作業する人が使いやすい足場を組むことが第一だと考えている。また、見た目も重要なので特にこだわっている。センスが問われ、安全性にもかかわってくる。鉄骨の建方時は、狭い現場では施工する順序が重要であり、効率よくできるような工夫している。

「技能士の資格については、平成23年に一級とび技能士の資格を取得した。日頃の成果が生かされため難なく取得でき、技能検定成績優秀者として翌年には山口県知事表彰をいただいた。また、24年に登録簿・土工基幹技能者

の認定も受けた。今では、技能検定の学科試験などには、日頃から目や耳にする言葉や動作などが多く出題されている。常に広い視野を持って仕事に取り組んでいたら、おのずと身に付くと思うので試験などでも有利になる。試験には総合的なことが出題されるため、何げないことも覚えておくことが良いと言っている。

「今後の目標は、仕事に必要な資格はほとんどと取得しているが、建築施工管理技士の資格は取りたい。」

【栗栖工業】
▽本社所在地 山陽小野田市中央3丁目7-13
▽創業 昭和60年9月
▽代表取締役 栗栖龍男
▽従業員 46人
▽業種 土木工事全般(足場仮設工事、機械器具据付工事、鉄骨工事、橋梁架設工事、防護柵施工など)

使いやすい足場を第一に 広い視野で仕事に取り組む

【防府】鉄骨建方から足場仮設までを手掛ける(有)栗栖工業の大野学氏(36)は、平成25年度「山口マイスター」の認定を受けた。事や技能士について聞いた。同制度は、ものづくり分た。野で卓越した技能・技術を持つ技能者を認定し、今年で12回目を迎える。大野氏は、平成5年に入社し、現在は主任技術

元氣山口

「これまでの仕事は、県内を中心にマンション

「これまでの仕事は、県内を中心にマンション

会社では、仕事への取り組み方が大事だと言っている。技能検定の学科試験などには、日頃から